



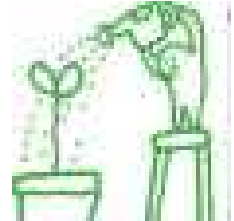
# たいよう

葵が丘小学校  
ことばの教室便り  
平成29年11月1日号



11月になりました。そろそろ次の学年のことが気にかかる時期になってきました。つい「そんなことじゃ〇年生になれない。」と子供の悪いところばかりに目がいてしまうかもしれません。先日参加した研修会で有名な大学の先生がこんな話をしていました。

「若葉を育てるのに、上から茎や葉を引っ張る人はいませんよね。丈夫にすくすく育てたかったら、日光と水と肥料を与えて、後はひたすら見守るくらいしかできることはないのです。」



子育ての例えとして、なかなか的を得た話だと思いました。しかし、この「見守る」ということが一番難しいことなのかもしれません。今月もよろしくお願いたします。

## 11月の予定

- 1日(水) 葵が丘小学校の就学時健診実施のため、全組、午後の指導はありません。
- 3日(金) **文化の日**
- 7日(火) 教室公開日 校内の通常学級の先生が指導の様子を見にくるかもしれません。
- 10日(金) 職員会議のため、午後のひまわり組の指導はありません。
- 21日(火) 研修のため、児童ことばの教室の指導はありません。
- 22日(水) ことばの教室の研修会参加のため、全組、指導はありません。
- 23日(木) **勤労感謝の日**
- 24日(金) 午後のたんぽぽ組の指導はありません。
- (25日(土) 葵が丘小学校 学習発表会)
- 27日(月) 葵が丘小学校の学習発表会の振替休日のため、全組、指導はありません。

## ことばの教室 親の会 親睦会の様子

10月19日(木)に葵が丘小学校親の会の親睦会が行われました。今回は、みなさんで自由におしゃべりをしながら、今流行の多肉植物の寄せ植えをしました。作業をしながらお話することで、自然と会話が生まれ、みなさんで楽しい時間を過ごすことができました。計画、準備していただいた親の会の役員の方々、ありがとうございました。

次回は、12月2日(土)に「クリスマス会」が計画されています。親子で一緒にお菓子作りをするそうです。詳しくは後日親の会から配布された案内を御覧ください。



【裏面もご覧ください】

## ことばの教室 親の会とは・・・

「同じ悩みを持つ親同士、交流の場」として発足していますが、縁あって、ことばの教室に通級することになった保護者同士が協力して、ことばの教室の環境の改善や、例えば「もう少し近いと通わせやすいんだけどな・・・」などの通級をしている保護者でなければ分からない要望などを市や県や国へ伝える唯一の機関となっています。親の会の毎年の要望によって、ことばの教室設置校は増えつつあります。



また、ことばの教室には学年費や教材費がありません。静岡県の親の会の補助金によって、毎時間の授業で必要な教材やおもちゃの多くを購入させてもらっています。まだ、入会されていない方はぜひ入会をお願いいたします。□

## ことばの発達の道筋

ことばの教室では、ことばの発達の様子を調べます。その時に基準となるのは、通常の言語発達がどのようなものであるかということです。大まかな幼児期・学齢時の言語発達の様子を紹介します。

※ことばの表れとして目立つものだけが書いてあります。子供の発達は「ことば」だけではありません。

いつでも全体の発達を見ていくことは何よりも大切です。

※この表はあくまでも目安です。特に語いの獲得に関しては環境の影響や個人差が大きいです。

※家での「話す・聞く」の表れと、学校や園での「話す・聞く」の表れが大きく違うことがよくあります。そのため、この表の中でも、偏りが見られる子が多いです。(例:「会話の会話の中でのことばの使い方に関すること」だけが年齢より遅れている など)

年齢 学年	音韻・文字に関すること	語いや意味の理解 に関すること	文法の理解に関すること	会話の中でのことばの使い方に関する こと
0歳	・様々な音を発音する。	・視線＋発声＋動作で意思を伝える。		・要求・挨拶・叙述などの意図を伝える。
1歳～	・バ・バ・マなどの発音しやすい音の言葉がでる。	・初語の出現(一語文の始まり) ・語の過拡張使用(なんでもワンワンというなど)		・頷きや首振りで「はい」「いいえ」を示す。 ・簡単な指示に応える。
2歳～	・さかんに真似る。	・2歳半で400語程度の言葉の意味が分かる。	・二語文が出始める。	
3～4歳	・早い子供は文字に興味を持ち始める。	・3歳で1000語程度の言葉の意味が分かる。	・5W1Hの質問ができる。	・大人と簡単な会話ができる。
5歳	・発音はほぼ完成 ・音韻認識が育つ。 ・音韻分解/抽出 ・しりとり・ことば集めができる。 ・文字の読み書きができ始める。	・語の定義を言う。 ・なぞなぞを言う。 ・物語文の理解。 ・2000語程度の言葉の意味が分かる。	・4～6語文を話す。 ・談話形式を獲得(複数の文章でまとまった意味を表す)	・ままごとで役割に合わせた話し方をする。
6歳～ 小学校 低学年	・ひらがなの習得、カタカナ、漢字の読み書きが始まる。	・3000～10000語(家での会話では困らない程度になる) ・2つの語の共通点を言う。 ・説明文・解説文の理解ができるようになる。	・受動態(～れる、～られる)を使う。 ・助詞(を、で、に、から)を正しく使うことができる。	・会話における話題の一貫性がある。
小学校 中学年		・比喻(たとえ)の理解(～ような、～みたいな)		・会話で言ったことが相手に伝わらない時、言い換える。
小学校 高学年		・詩・俳句の理解		・相手の言うことが理解できないとき、質問する。
中学校	・英単語の発音の理解や認識。			
高校		・言葉の以外の意味理解(空気を読む) ・ことわざの理解		



©UF2